

電機・電線業界に最適な 熱処理・めつき設備を提供

海外
発注可
納期
相談
企画力
自信有
コスト
相談
メイド
イン
ジャパン



ベル型真空光輝焼鈍装置

業務内容
焼鈍炉、溶融めつき装置を
一品生産

電気炉や乾燥機を製作。電機・電線業界などに線材加工における真空焼鈍炉、連続式真空焼鈍炉、溶融めつき装置を提供している。焼鈍炉の場合は「焼鈍する対象物の大きさ、重量を聞いて、最適な設備を作り上げる」と夏目康雄社長が話すように、顧客の要望に応じた装置を一品ごとに製作する。

めつき装置はフラックス（塩素を含んだ酸性洗浄液）を使用するものが主流だったが、作業環境が悪化することが課題だった。同社はその課題を解決するためにノンフラックス溶融めつき装置を開発、設備が錆びにくいという効果も評価されている。

強み
顧客の要望にきめ細かく
対応し信頼を獲得

設計から製缶、組立、断熱材・発熱体の取り付け、計器類の取り付け、塗装、配線、据付、試運転まで一貫生産を基本とする。顧客によって設備に求める性能、仕様はさまざま。同社はそれらの課題を自社の課題としてとらえ、試験機を活用して対応策を考えている。

リーマンショック以降、新規設備の依頼が減り、既存の設備改造や修理の注文が増えている。売り上げとしては新規設備に比べ少ないが、顧客の課題を吸収できる好機ととらえるとともに、次の新規設備受注につなげるためにも丁寧な対応を心がけている。

人材育成
現場を教科書に
オールマイティな仕事を

従業員は少人数で、各人にオールマイティな仕事が求められる。カバーし合うためにも、電気、製缶、機械などすべての

知識が必要。それだけに夏目社長は従業員に対し「勉強の大切さを説いている」という。社内で閑散期には溶接手法や、不具合を察知するための方法である音の聞き分け方などの勉強会を開く。

さらに納入やメンテナンスで客先の現場に赴く機会があれば、「そこにあるいろいろな機械を見せてもらいたい」と説く。異業種から転じた夏目社長自身も、入社後に夜間大学に通うとともに現場から知識を吸収し、仕事に生かしてきた。

今後の展望
効率化を追求
IoT対応の装置開発を目指す

常に納入先の作業者が取り扱いやすい装置の製作を心がけている同社の姿勢は顧客から高い評価を受けている。現在、トランスに使用するコイル用のアルミ線を効率的に焼鈍できる連続焼鈍装置を受注、製作している。

今後は、夜間にも操業するための完全自動化に対応するため、監視や保守、制御、分析を自動で行うIoT（モノのインターネット）に対応した装置の開発にも取り組んでいく。夏目社長は、顧客のものづくりに対する思いを大切に、製品の品質向上につなげるような提案、装置を提供することによって「良きパートナーでありたい」と願う。



ノンフラックス型はんだ厚めつき装置



アルミ連続焼鈍装置

当社の歴史



創業当初から、電気加熱方式による低温乾燥から高温加熱工業炉を製作しています。焼成加工する試料の形状、容量、重量に対応した装置を顧客の要望により設計製作してきました。近年では太陽光パネルの電極に使われる平角線のはんだ厚めつき装置や、アルミ丸線、平角線の連続焼鈍炉を製作しています。

代表取締役 夏目 康雄さん

<http://www.katano-kougyoukai.com/>

※交野市工業会ホームページ内

主な事業内容

電気加熱式熱処理炉の設計製作、既設備のメンテナンス

主な取引先(納入先)

電気用導体（伸線、圧延加工）製造メーカー

●住所 〒576-0054
交野市
幾野6-51-8
●TEL 072-891-7192
●FAX 072-892-8410
●創業 昭和39年1月
●設立 昭和45年6月
●資本金 1,000万円
●従業員 6名